# 奈良県立大学における地域連携の取組について



奈良県立大学

## 奈良県立大学の地域連携方針

本学は、「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」ことを建学の精神に掲げ、日本の歴史文化の原点である奈良の地で、歴史という時間軸と地域という空間軸の両面から現代社会の諸問題を探究しています。

学部は地域創造学部の一学部ですが、観光、地域政策、自然科学、国際理解、社会システム、人間の営みや文化といった多彩な学びの連携によって総合的な知識を培い、「地域を創る力」を育てることで社会貢献を果たしていきたいと考えています。

PICK UP

## 大学の研究者



奈良県立大学学長
尾久土　正己

■ 主な研究内容

アストロツーリズム、観光学、天文教育、天文学

※研究者の経歴等は
（URL：https://researchmap.jp/okyudo）をご参照下さい。

デジタル技術の活用
（データ利活用）

地域連携事例集にも掲載されています。

## 地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

観光、環境

■ 活用例

- アストロツーリズムの広がり
- 星空に対する光害と防止策
- 光害対策に効果的な環境や景観に優しいLED照明器具等の開発と光害対策

# 奈良県立大学における地域連携の取組について

PICK UP

## 大学の研究者



奈良県立大学
副学長
地域創造研究センター長
山田　修　教授

■　主な研究内容

文化財科学 、美術史 、保存修復、コンテンツ･アーカイブ、情報工学、3D、彫刻、彫塑

※研究者の経歴等は
（URL：https://researchmap.jp/yamaos ）をご参照下さい。

**デジタル技術の活用（デジタルコンテンツの利活用）**

地域連携事例集にも掲載されています。

## 地域課題解決に向けた活用例

■　活用分野

文化･スポーツ

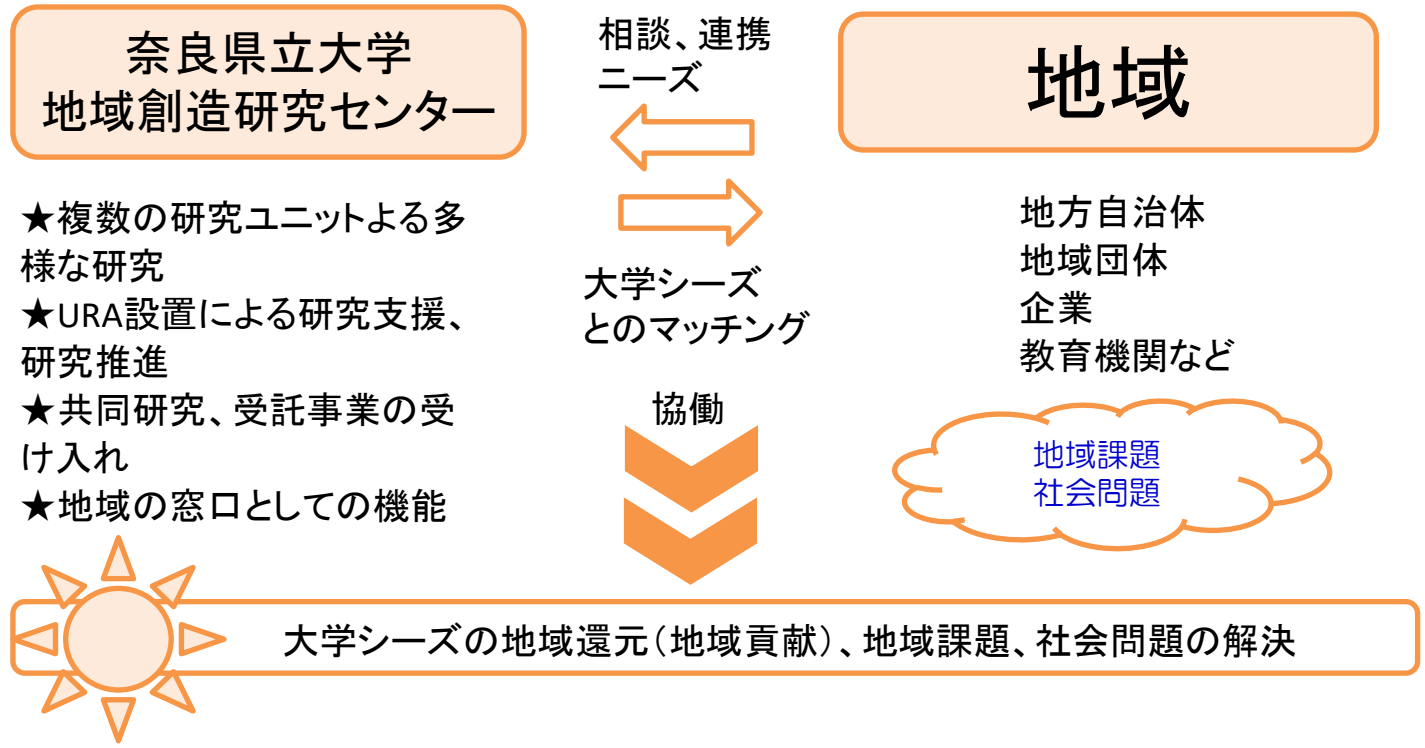
■　活用例

- 文化財の3Dデータ計測
- デジタルコンテンツの制作

# 地域との連携形態について

## 地域との連携形態

2020年10月、地域創造研究センターを開設し、センター内に複数の研究ユニットを組織して学内外の共同研究者と社会問題、地域課題の解決に向けた研究を行っています。
また2021年度からは、同センターにURA（リサーチ・アドミニストレーター）を設置し、外部資金獲得のための戦略策定・情報収集、学外者との連携、研究成果の発信等、研究支援体制を強化しています。




参考URL：https://narapu-rcrc.jp/

# 地域との連携実績について

## 地域との連携実績

本学は、地域に特化した地域創造学部の一学部であり、教員と学生の学習共同体である「コモンズ」を組織していることもあって、教員の指導を受けて、学生たちが地域に入って取組みを行っています。地域貢献や地域課題の解決の一助となるべく、また、学生自身の経験と学びとしている事例が比較的多いです。

・ 過去5年の連携実績

| 年度 | 件数 | 主な連携事例 |
|---|---|---|
| 2023年 | 8件 | ・重要伝統的建造物群保存地区として町並みの保存が図られる宇陀市の松山地区において、市と連携して景観調査を行ってきました（R3年度～）。また、その成果を踏まえたプロジェクトを検討し、地域の子どもたちを対象とした魅力発信のイベントを行いました。 |
| 2022年 | 8件 | ・奈良市の公園利活用事業に学生グループが参加し、地域の人たちと協議を重ね、地域でのつながりを生むための公園の活かし方や現場の地域課題の解決策を考えました。また、子どもを対象としたイベントを企画し実施することで、多世代の人たちの交流を促すことを試みました。 |
| 2021年 | 5件 | ・奈良県御杖村の食材100%使ったレストランを期間限定で運営し、考案したフレンチのコース料理を提供しました。村で得られた「情報」を食材に添えて提供することで「地産地消」に取り組むと同時に、地域資源や食文化も一緒に楽しんでもらうなどして、村のPRを図りました。 |
| 2020年 | 2件 | ・奈良県黒滝村を調査して、村をPRするパンフレット『黒滝ナビ！』を作成しました。また、「黒滝袴」という村の伝統的な作業着を、資料を基に形状を推測して復元し、「黒滝袴」の現在の服飾に合わせたコーディネートを考えるなど、地域の特性や魅力を再発見する取り組みを行いました。 |

**連絡先**
奈良県立大学地域創造研究センター／地域交流室
TEL： 0742-93-7022
Mail： rcrc@narapu.ac.jp